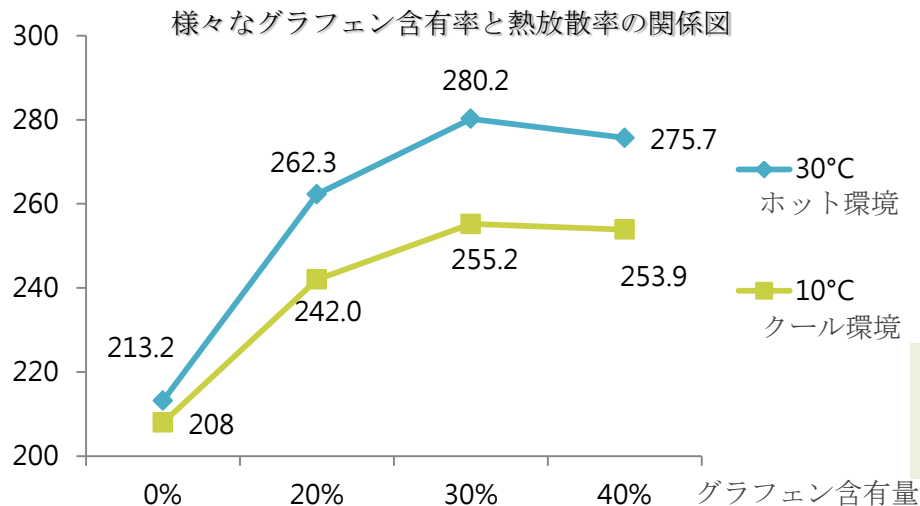


グラフェン 熱調節繊維

熱調節・恒温

- ✓ ホット環境で放熱—
温度が上がるにつれて、熱放散と熱伝導率が増加し、温度が高いほど放熱効果が良くなることを表しています。
- ✓ クール環境ですぐ均一温度に—
グラフェンの構成元素は炭素で、吸熱性があります。熱拡散性が高く、吸収した熱を短時間でグラフェンを含んだ衣服全体に拡散させることができます。



$$\text{熱放散率} = \sqrt{K\rho c_p}$$

K : 熱伝導率 (W/m·K)

ρ : 密度 (kg/m²)

c_p : 比熱容量 (J / kg·K)

- ◆ 30° C のホット環境では、熱放散値と熱伝導率が高く、比較的よい冷感効果があります。
- ◆ 10° C のクール環境では、熱放散値と熱伝導率が低く、温度を均一にし保温する効果があります。